

試
験

0526

供覽

一月十八

軍務局長

艦政本部

供覽

參謀長

機關長

參謀

副官

機關官

條

横濱吉本納

軍務局長

〇二

日進

大正三年一月十七日

横須賀海軍工廠長加藤定

海軍大臣男爵齋藤實殿

局員

重油噴燃器試験成績件

一軍艦河内重油噴燃器試験成績 壹通

但シ明治四四年官房第四九四號ニ基キ施行ノモノ

右報告ス

第四

別紙七葉添

郵政印係

磁村

終

會計課

海軍

海軍

2.1.70

0827

佐鎮第一

佐鎮第一三號

大正二年一月五日

佐世保鎮守府司令長官島村速

海軍大臣 男爵 齋藤 實殿



艦政本部



軍艦宇治修理公試運轉件
可致系条
右報告云

第四部
第三部

部員別帝室事務

會計課



0528

軍艦宇治公試運轉予定日割

二十六日(水) 自差修正 準備運轉 午前八時五分出港

二十七日(木) 英炭(20T)積込 水補給

二十八日(金) 公試運轉に全力四時間航行 午前八時五分出港

備考 工事又ハ天候ノ都合ニヨリ予定時日変更スルコトアルベシ

0529

0530

供
送
人

電 報 着 報 紙

局		發		名氏所居人信受	
取費者	船務局	第	廿	〇〇〇〇〇	
會計課	午後	一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	十一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	十二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	十三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	十四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	十五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	十六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	十七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	十八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	十九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	二十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	廿一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	廿二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	廿三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	廿四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	廿五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	廿六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	廿七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	廿八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	廿九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	三十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	三十一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	三十二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	三十三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	三十四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	三十五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	三十六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	三十七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	三十八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	三十九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	四十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	四十一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	四十二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	四十三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	四十四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	四十五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	四十六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	四十七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	四十八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	四十九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	五十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	五十一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	五十二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	五十三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	五十四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	五十五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	五十六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	五十七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	五十八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	五十九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	六十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	六十一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	六十二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	六十三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	六十四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	六十五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	六十六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	六十七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	六十八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	六十九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	七十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	七十一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	七十二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	七十三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	七十四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	七十五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	七十六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	七十七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	七十八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	七十九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	八十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	八十一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	八十二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	八十三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	八十四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	八十五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	八十六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	八十七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	八十八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	八十九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	九十	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	九十一	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	九十二	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	九十三	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	九十四	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	九十五	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	九十六	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	九十七	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	九十八	〇	〇〇〇〇〇	
	午後	九十九	〇	〇〇〇〇〇	
	午前	一百	〇	〇〇〇〇〇	

電

宛

電報着信紙

紙

軍令部

立

受信人居住氏名

カ
カ
カ
カ
カ

カ

受信人居住氏名

カ
カ

局	第一班	局	第一班	報	報
受信	付午後	受信	付午後	第一	第一
第一班	會社部	第一班	會社部	九	九
第三班	分	第三班	分	局	局
	分		分	號	號

指定

事記

力標宗
 九九程程
 九九間修
 九九平理
 九九均公
 九九速試
 九九力運
 九九二轉
 九九九本
 九九安月
 九九良執
 九九勤火
 九九良火
 九九良火

番着	紙數	受信人居住氏名
三	三	カ
カ	カ	カ

印附日信着

電報

0531

軍令部

軍務局

艦隊部

大正二年 三月十四日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

海軍大臣 男爵 齋藤 實殿

軍艦宇治(修理)公試運轉成績表
右進達不
右通

第一班
第三班

第四部
第三部
會計課

部員

艦製圖場

浦水

何れか進達表一頁
何れか進達表一頁

供覧

海軍

8-17

0532

0533

號一第紙單案起

大正元年三月廿七日起案

孫印

二月廿日發行

孫印

發行後起

孫印

豫算注文掛

豫算注文掛

豫算注文掛

提案

艦政本部長

第一部

大臣

次官

參事官

副官

會計課

軍務局長

經理局長

主任局員

軍令部長

次長

第一班

第二班

第三班

大正二年三月廿七日

第一艦隊司令長官

發送

三月廿七日

三月廿七日

三月廿七日

探照燈實驗件

其麾下軍艦河内後部十二吋砲塔上

其成績及意見提出スルコト

一實用上、効果及便否

右訓令ス

追テ右裝備ハ向艦横須賀回航、際ハ工廠

ヲシテ施テ、横須賀鎮守府司令長官

別訓令ニ置ケル

官房第三三〇號、二

艦本第七一之號

大正三年二月四日

大臣

横鎮長官

0534

(花崎納)

探照燈實驗

軍艦河内其備軍港回航之際艦後部

十二吋砲台上比敵用百十種探照燈

基^(現高木報)臨時裝備方其府工廠^{三月種着差度}

取計ハシムヘシ

但し所要費用軍事情造兵備支辨トシ

請求ヲ請テ配賦ス又工事方案ニ用ヒテ艦

改本部長^{ラシテ}直接工廠長^{ニ通}知セシム

右訓令ス

海軍

0535

經武院

供覽

吳鎮守府

大正三年二月廿二日

吳鎮守府司令長官加藤友三郎

海軍大臣閣下 有様 敬啟

軍務局

艦政本部

軍令部



本年三月三日 試運送付、
 第四號 海軍大臣閣下
 第三號 海軍大臣閣下
 第二號 海軍大臣閣下
 第一號 海軍大臣閣下
 試運送付、
 第一號 海軍大臣閣下
 第二號 海軍大臣閣下
 第三號 海軍大臣閣下
 第四號 海軍大臣閣下
 第五號 海軍大臣閣下
 第六號 海軍大臣閣下
 第七號 海軍大臣閣下
 第八號 海軍大臣閣下
 第九號 海軍大臣閣下
 第十號 海軍大臣閣下
 第十一號 海軍大臣閣下
 第十二號 海軍大臣閣下
 第十三號 海軍大臣閣下
 第十四號 海軍大臣閣下
 第十五號 海軍大臣閣下
 第十六號 海軍大臣閣下
 第十七號 海軍大臣閣下
 第十八號 海軍大臣閣下
 第十九號 海軍大臣閣下
 第二十號 海軍大臣閣下
 第二十一號 海軍大臣閣下
 第二十二號 海軍大臣閣下
 第二十三號 海軍大臣閣下
 第二十四號 海軍大臣閣下
 第二十五號 海軍大臣閣下
 第二十六號 海軍大臣閣下
 第二十七號 海軍大臣閣下
 第二十八號 海軍大臣閣下
 第二十九號 海軍大臣閣下
 第三十號 海軍大臣閣下
 第三十一號 海軍大臣閣下
 第三十二號 海軍大臣閣下
 第三十三號 海軍大臣閣下
 第三十四號 海軍大臣閣下
 第三十五號 海軍大臣閣下
 第三十六號 海軍大臣閣下
 第三十七號 海軍大臣閣下
 第三十八號 海軍大臣閣下
 第三十九號 海軍大臣閣下
 第四十號 海軍大臣閣下
 第四十一號 海軍大臣閣下
 第四十二號 海軍大臣閣下
 第四十三號 海軍大臣閣下
 第四十四號 海軍大臣閣下
 第四十五號 海軍大臣閣下
 第四十六號 海軍大臣閣下
 第四十七號 海軍大臣閣下
 第四十八號 海軍大臣閣下
 第四十九號 海軍大臣閣下
 第五十號 海軍大臣閣下
 第五十一號 海軍大臣閣下
 第五十二號 海軍大臣閣下
 第五十三號 海軍大臣閣下
 第五十四號 海軍大臣閣下
 第五十五號 海軍大臣閣下
 第五十六號 海軍大臣閣下
 第五十七號 海軍大臣閣下
 第五十八號 海軍大臣閣下
 第五十九號 海軍大臣閣下
 第六十號 海軍大臣閣下
 第六十一號 海軍大臣閣下
 第六十二號 海軍大臣閣下
 第六十三號 海軍大臣閣下
 第六十四號 海軍大臣閣下
 第六十五號 海軍大臣閣下
 第六十六號 海軍大臣閣下
 第六十七號 海軍大臣閣下
 第六十八號 海軍大臣閣下
 第六十九號 海軍大臣閣下
 第七十號 海軍大臣閣下
 第七十一號 海軍大臣閣下
 第七十二號 海軍大臣閣下
 第七十三號 海軍大臣閣下
 第七十四號 海軍大臣閣下
 第七十五號 海軍大臣閣下
 第七十六號 海軍大臣閣下
 第七十七號 海軍大臣閣下
 第七十八號 海軍大臣閣下
 第七十九號 海軍大臣閣下
 第八十號 海軍大臣閣下
 第八十一號 海軍大臣閣下
 第八十二號 海軍大臣閣下
 第八十三號 海軍大臣閣下
 第八十四號 海軍大臣閣下
 第八十五號 海軍大臣閣下
 第八十六號 海軍大臣閣下
 第八十七號 海軍大臣閣下
 第八十八號 海軍大臣閣下
 第八十九號 海軍大臣閣下
 第九十號 海軍大臣閣下
 第九十一號 海軍大臣閣下
 第九十二號 海軍大臣閣下
 第九十三號 海軍大臣閣下
 第九十四號 海軍大臣閣下
 第九十五號 海軍大臣閣下
 第九十六號 海軍大臣閣下
 第九十七號 海軍大臣閣下
 第九十八號 海軍大臣閣下
 第九十九號 海軍大臣閣下
 第一百號 海軍大臣閣下

2.2.10

0536

2.2.10

供覽

供覽

艦政本部

軍務局

東支隊

司令部

大正二年五月二日

吳鎮守府司令官 加藤友三郎

第四部 部員

海軍部 會計課 部長 齋藤 啓

一軍艦淺間改造公試運轉成績表 表 通

右進達

別表一通紙

第三班

第一班

第三班

致本部接受
二五月十四日

0538

供覧

九二

大正二年二月十八日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣男爵藤原實毅

軍艦石見公試運轉付

軍艦石見修理竣成。近十候。付公試運轉委員
ヲ命シ左記期日。於テ機関試運轉ヲ施行ス
右報告ス

第四部 三月二十号

警留運轉

第三部 三月十二日

豫行運轉

會計課 三月十三日

公試運轉

三月十日

艦政本部

軍務局

海軍

0533

軍務紙

信

艦政齋

報

電

電

局 着		局		發		名氏所居人信受	
取扱者	受付	付	受	付	受	第	名氏所居人信受
午後	午後	午後	午後	午後	午後	一	イ
分	分	分	分	分	分	七	イ
字	字	字	字	字	字	號	イ
日	日	日	日	日	日	報	
石見汽機故障豫行運轉 中止歸港ス 三月十三日 長官						定指	名氏所居人信受
田原 原						事記	名氏所居人信受
越村						番	名氏所居人信受
一						紙	名氏所居人信受
一						第十七號	名氏所居人信受
印附日信着							名氏所居人信受

0540

軍務局 紙 信 艦政本部 着 報 電 供 下

局	局	發	名氏所居人信受
取投者	付 午前	第 天	
信	午後	第 四 部	
局	字	局	
報	報	報	

定 指

事 記

三月十七日

更に三月二十一日迄

石又試運轉

ラニニツキニヒニエ

（みウフクニツ）

三月十七日

吳 總 長 長

番着 信	數紙	名氏所居人信受
	第四十九號	
印附日信着		
8-18		

0541

供覽

海

艦政本部

軍務局

軍令部

吳鎮機第九四號

大正二年六月六日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣男島村嘉太郎

一軍艦司令部修理公試運轉成績表一通

右進達

(別紙一通添)

切頭及後表一通艦政本部送

第一班

第三班

海

軍

2.6.10

0542

經 減 爲 供 以 人

別冊 艦本部 圖書 部 之 修 管 人

吳鎮守府 二二二二

大正二年 二月二十七日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

艦政本部

軍務局

第一海軍 第三部 艦政本部 實殿

一 驅逐艦 時 兩 公 試 運 轉 成 績 表

右 進 達 不

(別紙一通函)

壹 通

局員

第一班

第三班

海 軍

0843

手紙 試 孫 山田彦八

供 實

横領第三九九番ノ白

大正二年三月六日

第四部 横領 横領守府司令長官 山田彦八

海軍 大佐 山田彦八

艦政本部

會計課

試 執 運 抄 執 行 件 之 執 行 之 事 九 月 横

軍艦 築波ノ試運 抄 執 行 件 之 執 行 之 事 九 月 横

鎮守 第六ノ試運 抄 執 行 件 之 執 行 之 事 九 月 横

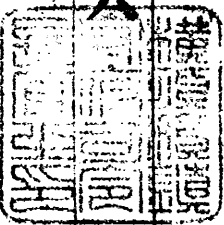
定 修 理 部 抄 執 行 件 之 執 行 之 事 九 月 横

妻 子 抄 執 行 件 之 執 行 之 事 九 月 横

軍務 部 抄 執 行 件 之 執 行 之 事 九 月 横

第三班 抄 執 行 件 之 執 行 之 事 九 月 横

三月十七日



0544

三月十三日

右報告人

委員及委員附屬員

海軍大臣 鈴木貫太郎

海軍少佐 藤村昌光

海軍少佐 池田岩三郎

同 大須賀久

海軍少将 岸田東次郎

海軍少将 上村行榮

海軍少将 廣瀬龍次

以上委員

海軍少将 島森兼光

以上委員附屬員

終

海軍

0545

新造公試

$$ITP = \frac{23260}{10}$$

$$P_{red} = 21.16$$

本修理公試

$$ITP = \frac{22,200}{10}$$

$$P_{red} = 145$$

登出 277 款 気力

$$23260 \times \frac{9}{10}$$

$$= \frac{20,934}{10}$$

借取人

0546

電

艦政本部

軍務局

軍令部

第三部
第四部

海軍

明治三十五年

五月二十五日

午後九時三十分

海軍省

海軍

16
8-25

受信者 海軍大臣
發信者 横鏡長友

電報譯

筑波公試運轉一昨二十日結了結果
良好(平均回轉一四五馬力二三
〇〇餘)

右報告ス

商員

第一班

第三班

(終)

四
3-24

0547

電 報 着 信 紙

局	着	局				發	名氏所居人信受											
取扱者	受信 付午前 後十時五分	ク ク 入 字	付午前 後九時五分	三月 一日	第 二 號	ヨ コ ス キ ニ シ マ ラ 局	報											
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p style="font-size: small;">定指</p> <p style="font-size: small;">事記</p> </div> <div style="width: 35%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="font-size: small;">番着 號信</td> <td style="font-size: small;">數紙</td> <td style="font-size: small;">名氏所居人信發</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">五</td> <td style="text-align: center;">第 五 號</td> <td style="text-align: center;">五 八</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">印附日信着</td> <td></td> </tr> </table> </div> </div>							番着 號信	數紙	名氏所居人信發	五	第 五 號	五 八	印附日信着			ヨ コ ス キ ニ シ マ ラ		
							番着 號信	數紙	名氏所居人信發									
五	第 五 號	五 八																
印附日信着																		
電報本文 (Handwritten characters)																		

0548

手紙

供養

伊波

軍務局長

艦政本部長

第三部長

第四部長

會計課長

大正三年三月

艦政本部長
吳鎮司 會長 官長

軍艦常務公試 轉

右 吳鎮司 鎮密第一四號 御檢議

件 異存無之

右 回答ス

四

海

軍

0549

3-17

艦政本部長

第四部

第三部

會計課

吳鎮守府第一四八號

大正二年三月十二日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣 青木和郎

常務次官 渡辺 三郎

本課常務修理課長、噴火艦の修理
試験検査規則第百一十條第一項に依り
以て逐次検査し、豫定ニ為らざる本艦の
兩舷高壓汽管及び推進軸の検査也
三月十二日、右以て逐次検査の旨に於て、差
干時、命令力に發生せしむる旨を以て、

海軍

0550



東成号存多之故
右協議ス

五

海軍

0551

洪

吳鎮守府第二之號

大正二年四月十六日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣男爵齋藤實殿

軍艦常磐公試運轉ノ件

軍艦常磐修理竣成ニ近キ候ニ付公試運轉

委員ヲ命ジ左記期日於テ公試運轉ヲ施

行ス第四部員

右部員

四月十八日

繫留運轉

四月廿三日

豫行運轉

四月廿九日

公試運轉

第一班

秋山

第三班

(終)

原

海軍

艦政本部

軍務局

部

濟

福田

満俊

松村

熱

軍艦常磐

高橋是納

2.4.18

0552

4-19

供覽
海軍

供覽

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

大正二年六月三日

吳鎮守府司令長官 加藤友三郎

海軍大臣 加藤友三郎

艦政本部

軍務局

軍令部

秘書

第一班 第二班 第三班 第四班
第一班 第二班 第三班 第四班
第一班 第二班 第三班 第四班
第一班 第二班 第三班 第四班

局員

第一班 第三班

別紙 敬請 表 送 通 船 政 四 部 備 官
船 本 部 代 官

海軍

0553

軍務局

艦政本部

舞鶴機密第二一號ノ二

供出

大正二年三月十七日

舞鶴鎮守府司令長官男爵三須宗太郎



海軍大臣男爵齋藤實殿

第四部 部長

第三部 部長

會議 運轉期日件

軍艦阿蘇及周防方記、期日ヲ以テ公試運

轉施行、豫定

方報

阿蘇 三月二十五日及四月一日

周防 三月二十日

終



0554



3-19

供覽

專

艦政本部

軍務部

軍令部

供覽

大正二年四月二日午前

時

海

軍

受信者海軍大臣

各信者

新納長官

余部
丸の内署

阿蘇公試運轉本日施行結果良好

速力二〇、二三馬力一五七〇力

0555



紙 達 送

注意

注意

受付月日の記入を省略したるものは受付の當日若局に於て受信したるものとす

受信人宛てたる電報の配達を受けたるときは其由を符號(記号)に記し、返送したる電信局所に返展せらるべく決して其受取本人へ直送し又は手渡しせざること

局著		局		第		報		名氏所居人信受	
受	信	付	受	第	一	局	報	カ イ ノ シ シ	
務	受	受	受	一	一	局	報		
者	セ	年	年	月	日	號	局	名氏所居人信發	
	セ	九	九	時	二	分	分	マ ハ	
	セ	時	時	分	分	分	分	指 定	
	セ	分	分	分	分	分	分	ラ ラ	
	セ	分	分	分	分	分	分	事 記	
	セ	分	分	分	分	分	分	印 附 日 局 著	
	セ	分	分	分	分	分	分	番 號	
	セ	分	分	分	分	分	分	〇〇六	

海 軍

0556



(花 輪 飾)

印刷局製造

紙 信 着 報 電

郵政本部

局	着	局	計	四	發	名氏所居人信受
取扱者	受借	付午後	付午後	第	第	
	午後	後	後	三	二	
	分	分	分	日	號	
	字	字	日	號	局	
					報	

ス又、ホ、ヒ、ノ、コ、ウ
 シ、カ、エ、テ、ハ、セ、ウ、キ、コ
 シ、ニ、セ、エ、カ、イ、コ
 シ、カ、リ、エ、メ、キ、ウ、エ
 周防本日の公試運轉は降下所定通り
 轉ニ陸上にて天候不良時同豫備魚中
 以テ中止ス

以テ中止ス
 桑額長官

番着信	紙	名氏所居人信發
三	第	マハ
五	號	
印附日信着		
3-24		

0557

手記

供愛

0558

艦政本部

軍務局

軍務

吳鎮機第一五七

大正二年三月十五日

吳鎮守府司令長官加藤友三郎

第四部 海軍大臣 齋藤實任

會計課

驅逐艦初春、初雪公試運轉、件

驅逐艦初春、初雪修理迄、二近、キ

候、二行、公試運轉、委負、ヲ命、シ、左記、期、

二、於、公試運轉、ヲ施行、ス

右報告ス

三月二十四日 初春豫行運轉

三月二十七日 初春公試運轉

												三月二十五日	初雪豫行運轉
												三月二十九日	初雪公試運轉

(3)

0558

供覽

重

供覽

海軍

艦政本部

初雪初志公試運轉結果良好
初雪全力十分九、同轉數三六九馬力
六五〇の速力二七・二八、初雪全力十分九
同轉數三六四馬力、馬力五八〇の速力二
三九

長官

軍務部

大島

軍令部

電 報 着 信 紙

局 着		局 發			名氏所居人信受				
取扱者	受信 付午後 時分	付午後 時分	第	報	<div style="font-size: 2em; text-align: center;"> 友 報 局 報 </div>				
		字	日	號			局	報	
定 指					<div style="font-size: 2em; text-align: center;"> 友 報 局 報 </div>				
マ	ノ	シ	ニ	〇			三	フ	ハ
シ	ノ	ハ	ハ	カ			ノ	ヒ	ク
ニ	ハ	フ	ク	セ			ハ	ス	ヒ
七	五	三	フ	ク			ハ	ス	ヒ
、	ハ	ク	ク	ク			マ	マ	ク
三	〇	ハ	ハ	マ			ハ	マ	ク
九	〇	ハ	ハ	マ			ハ	マ	ク
ハ	ハ	ハ	ハ	マ			ハ	マ	ク
セ	ハ	ハ	ハ	マ			ハ	マ	ク
十	ハ	ハ	ハ	マ	ハ	マ	ク		

0561

部

軍務局

艦政本部

海軍

法務局

<p>大正二年六月三十日</p> <p>吳鎮守府司令長官 加藤友三郎</p>	<p>海軍大臣 野澤齋藤玄和</p>	<p>一、驅逐部 初等修理官 試運轉成績表</p>	<p>右佐 達又</p> <p>別隊二部 海</p>	<p>第一班</p> <p>第三班</p> <p>海軍</p>
--	--------------------	---------------------------	----------------------------	---------------------------------

共計 18

2月1日

軍令部 陸軍部 海軍部

高橋足一 納

4

6

0862

10

手記

起案第一號

大正二年四月一日起案

起案并捺印

四月

日發行

發行後起案者捺印

提案 艦政本部長

和

大臣

副官

第三部

外

次官

參事官

會計課

水

水

軍務局長

田

田

田

經理局長

大正二年四月一

電信

大臣

阿蘇公試運轉四月一日施行

認

各務

每頁

12
4-1
1913

0563

4-1

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5
10

0564

艦政本部

大正二年三月廿一日午八時十三分 局發
大正二年三月廿一日午九時一分 局著

受信者 大臣

發信者 幕僚 七カク

電報譯

仰
阿蘇復舊修理工事全部修了せしも天候不良、為之本
年度内ニ公仕運轉ヲ施行し得ズ九月一日施行ノ豫定ハ申込

第四部
第三部
會計課



四

海軍



0565

0566

電 報 着 信 紙

局	着	局	發				名 氏 所 居 人 信 受		
取扱者	受信	付午後	付午後	第	號	局	報	<p>カ イ シ リ</p>	
	付午前	ハ時	三月						
	九時	八時	日						
	分	字							
<p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p> <p>カ イ シ リ</p>							定指		
							番着信	紙數	名氏所居人信受
							第	三	マ ハ
							號		
							印附日信着		

供覽

陸軍部

海軍部

海軍部

司令員

軍令部

潜隊機第四五號

大正三年

第一

日於江田内

海軍大臣齋藤實殿

海軍大臣齋藤實殿

潜水艇水中信號光通信試驗成績件

本隊第十號土潜水艇三月十五日甲島附近於水

中信號光使用通信試驗ヲ施行シ別紙ノ通り

成績ヲ得候條試驗方案及成績表相添へ

右提出ス

別紙二葉添付

終

第二班
第一班
第三班

0567

水中信號鐘通信試驗方案

一、三月十五午前、時半出艇甲島附近ニ於テ水中信號試

驗ヲ支

二、白石ノ南方約ニ哩附近ノ地ニ至ルニ至ルニ解列兩艇直潜航

準備ヲ完成シ水中信號號ヲ以テ互ニ其整備ヲ報告スルニ

信號規約ヲ特ニ尤ノ如ク定ム

潜航準備完成..... 發動符.....

三、發動符ノ終止ト同時ニ各艇別同ニ示ル如ク航路ヲ探リク速ニ

交換ニ發動時ヨリ時間ニテノニテ終止浮上潜航準備

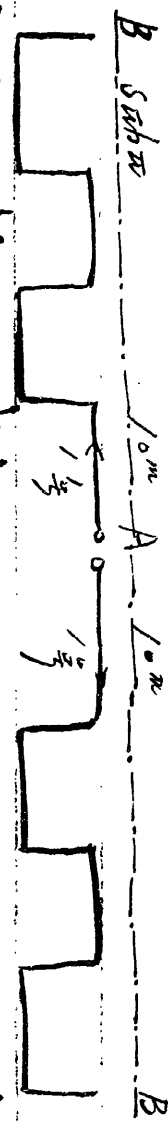
ヲ復旧シ白石附近ニ集合スルニ

四、最後浮上シ各艇位置各艇正確海圖ニ記入各要

(B点)

海軍

五、右根別表ニ依リ成績ヲ調製スルニ支度係不感ト
 ナリト時間等ヲ記録シ直キ成績各通信巨齋ハ既知
 古A及B点ヨリ打算記註ニテ要ス
 六、豫定航路圖



運動要領——發動符ニ終止ト同時ニシロクケウニテ作動セトトテ十分毎ニ

國ノ如ク変針ヲ繰返スモノトス

A——發動具ニテ右ノ1/2ニ理知、此具組テテ子ノ巨齋ニ適宜近クモモ

B——發動具ノ時間ニ分テ経路上ノ位置

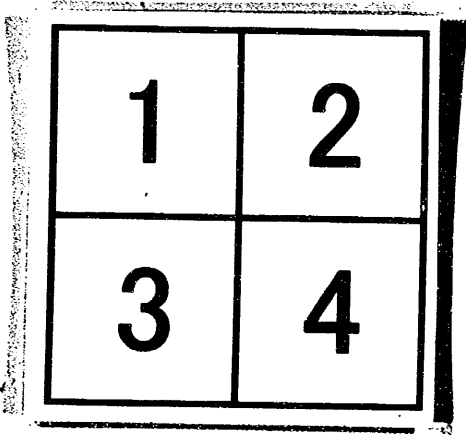
七、運動中教言或張望等必要ニ場合ニ浸洗状態

トテ要ス

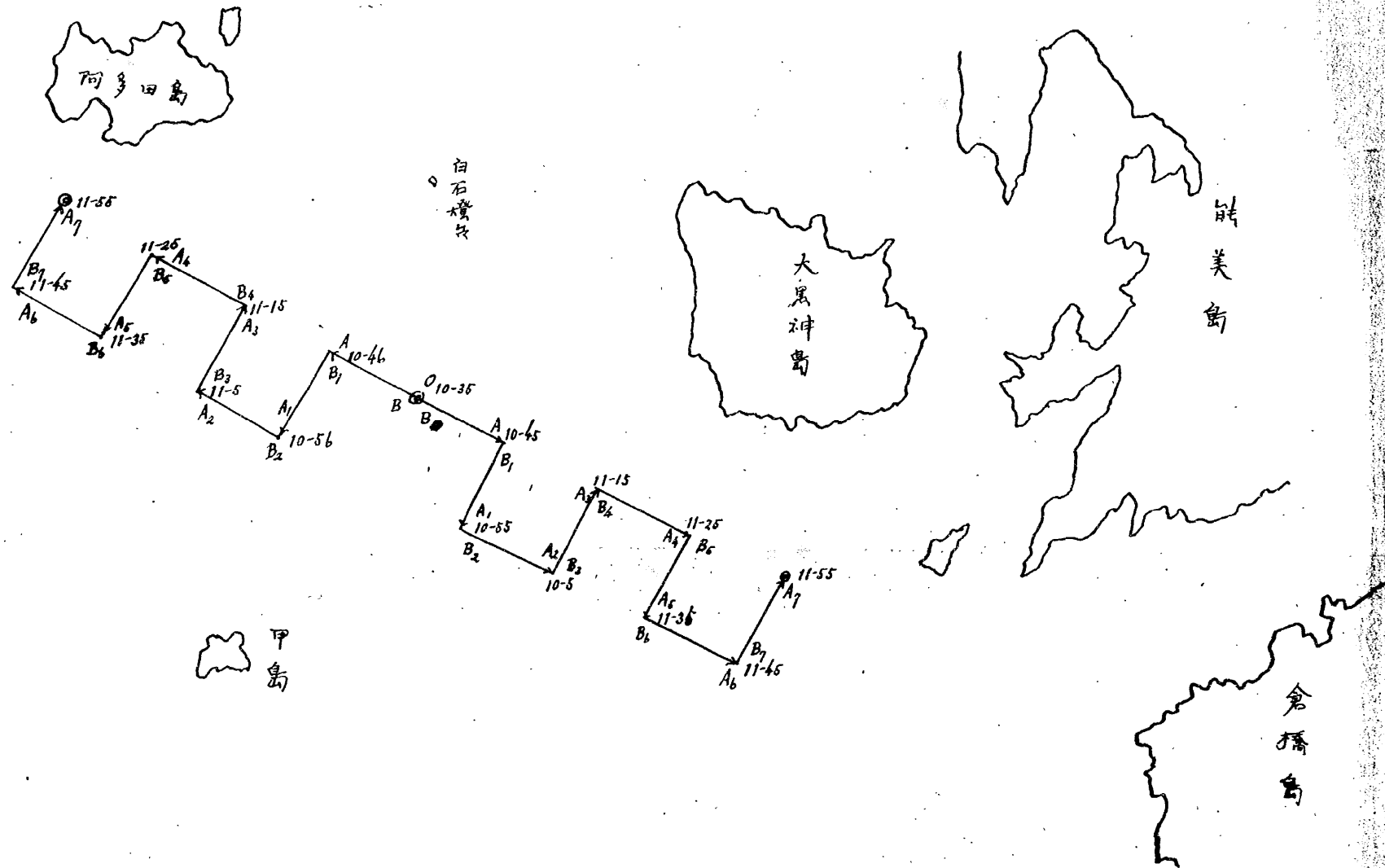
終

0569

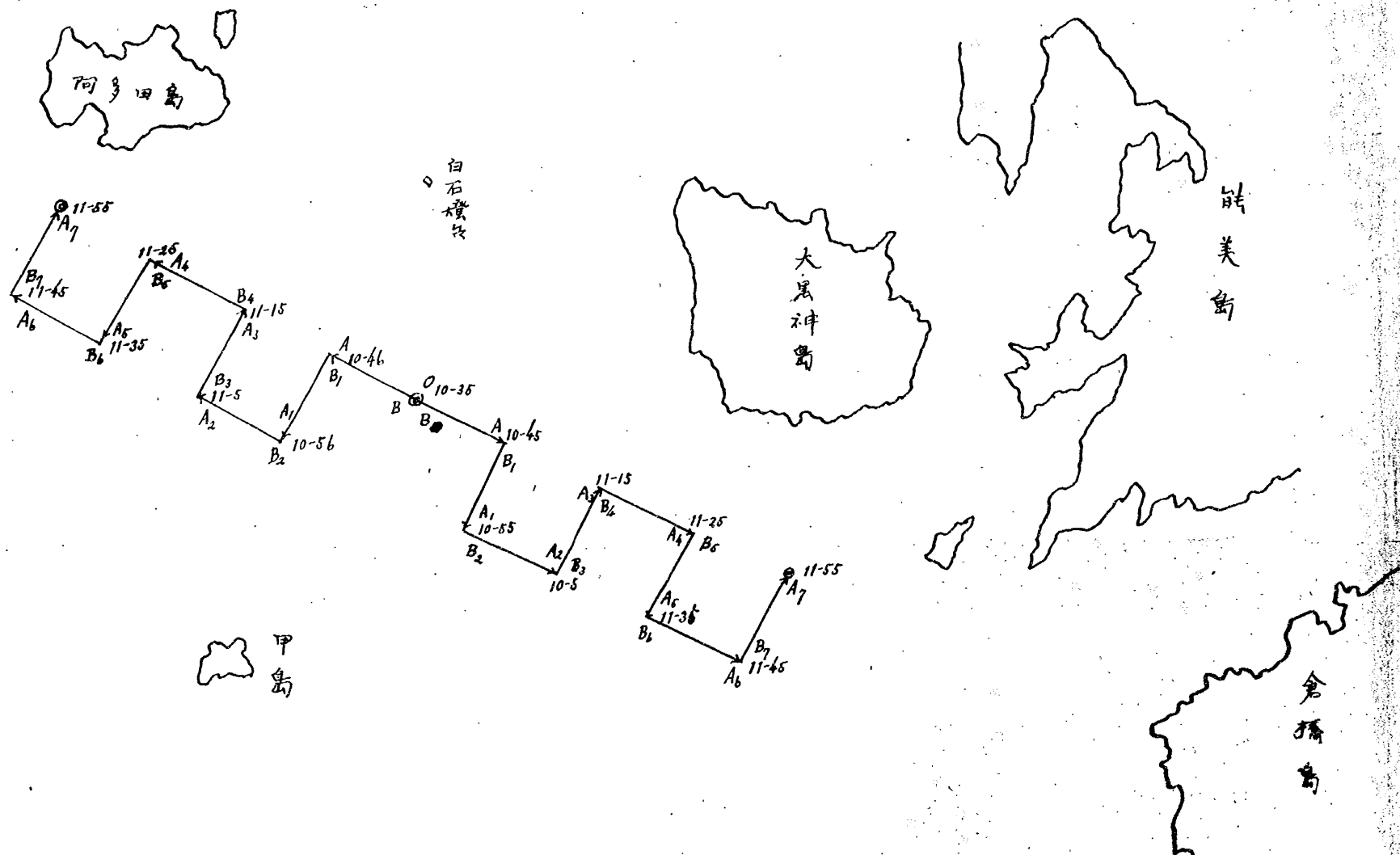
分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0570
0571
0572
0573

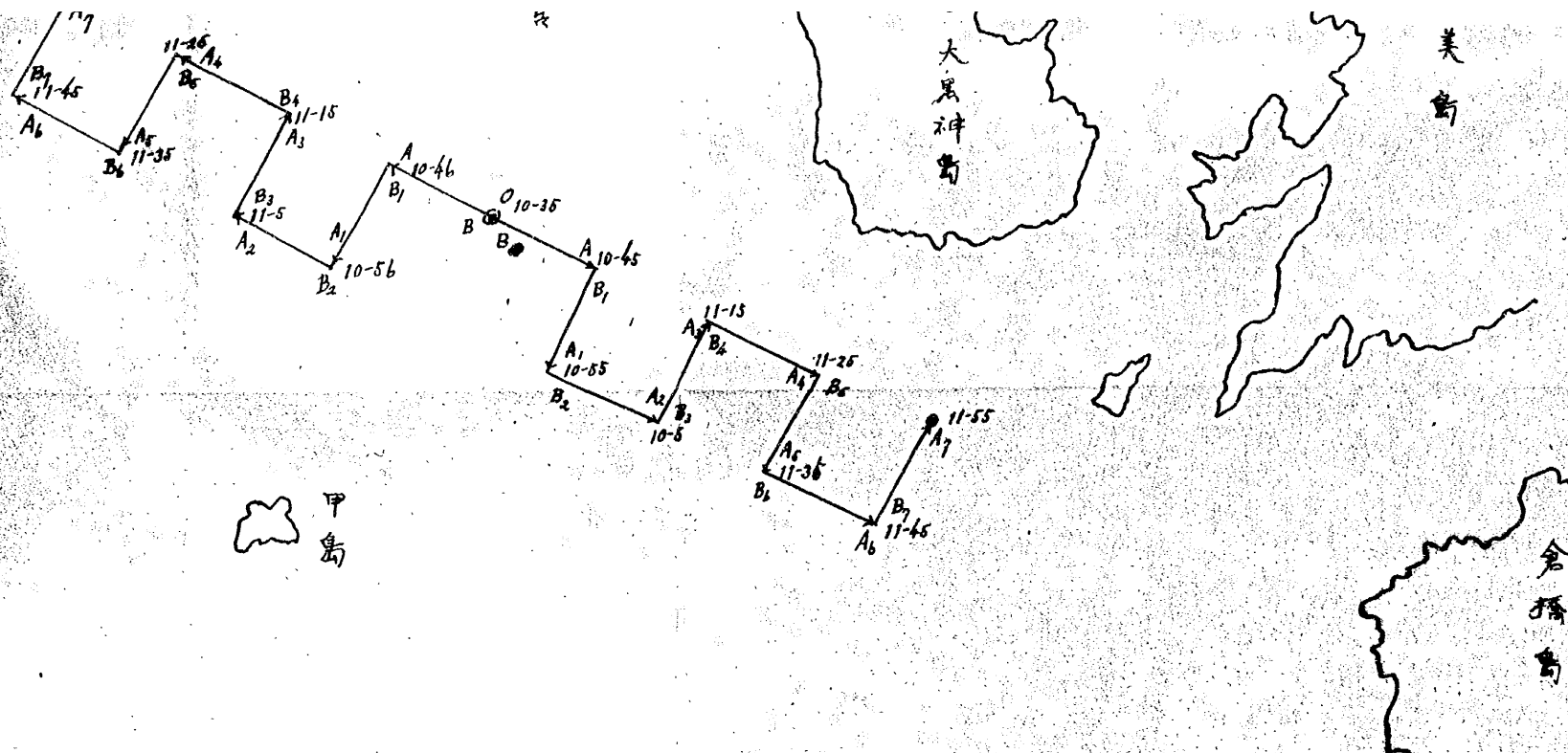


位置	時間	発信機速度	公測航深度	発信気圧	発信状態	発信符号	受信機速度	公測航深度	受信符号	感度	受信距離	記事	成果及素見
B	10 ³⁵ 10-40	130 amp	14 ft	20 lbs	良	00000-00	130 amp	14 ft	00000-00	極弱	2/3'	0 受信	<p>一運動距離、時間、物限=0.55倍、距離、最終、浮上、此距離=拾、横方、発信=對、十分耳、聴取、此、得、之、以前、成績、比、基、優、越、地、勢、關係=可、此、身、開、高、層、研究、要、首、尾、方、向=拾、十、号、艇、初、不、感、一、号、艇、能、微、存、此、聴、取、其、異、生、二、兩、艇、轉、航、時間=一、分、當、十、号、艇、自、艇、轉、航、二、分、後、移、十、号、艇、一、分、間、及、自、艇、轉、航、中、横、方、拾、行、更、信、此、ト、初、破、音=漸、次、微、解、ト、送、=首、尾、針、路=入、不、感、ト、此、十、号、艇、全、首、尾、線、ハ、更、信、ト、此、ト、</p>
A	10-40 10-45	130 amp	15 ft	25 lbs	良	00000-000	130 amp	14 ft		不感	1 ²⁵ / ₆ '	A ₁	
B ₁	10-45 10-50	130 amp	14 ft	22 lbs	良	0-000	130 amp	18 ft	0-000	極明瞭	1 ³⁵ / ₆ '	A ₁ A ₂ A ₃ A ₄ A ₅ A ₆ A ₇	
A ₁	10-50 10-55	130 amp	22 ft	25 lbs	良	00-00-0	130 amp	14 ft	00-00-0	極明瞭	1 ⁵⁵ / ₆ '	A ₁ A ₂ A ₃ A ₄ A ₅ A ₆ A ₇	
B ₂	10-55 11-0	130 amp	16 ft	22 lbs	良	0-0000-0	130 amp	30 ft	0-0000-0	變針、明瞭、後、微、弱	2 ⁵ / ₆ '	A ₁ A ₂ A ₃ A ₄ A ₅ A ₆ A ₇	
A ₂	11-0 11-5	130 amp	15 ft	25 lbs	良	0-0000-0	130 amp	14 ft		不感	2 ⁵⁵ / ₆ '	B ₁ B ₂	
B ₃	11-5 11-10	130 amp	14 ft	22 lbs	良	00-0000-00000	130 amp	15 ft	00-00000-00000	初、不明、後、明瞭	2 ⁵⁵ / ₆ '	B ₁ B ₂ B ₃ B ₄ B ₅ B ₆ B ₇	
A ₃	11-10 11-15	130 amp	15 ft	25 lbs	良	00-00000-00000	130 amp	14 ft	00-00000-00000	明瞭	2 ⁵⁵ / ₆ '	B ₁ B ₂ B ₃ B ₄ B ₅ B ₆ B ₇	
B ₄	11-15 11-20	130 amp	14 ft	20 lbs	良	00000-0000-000	130 amp	20 ft	00000-0000-000	初、不明、後、極、弱	2 ² / ₃ '	B ₁ B ₂ B ₃ B ₄ B ₅ B ₆ B ₇	



公測航深度	発信気圧	発信機	発信符号	発信機電力	公測航距離	発信符号	感度	発信時間	記事	成果及意見
14 ft	20 lbs	良	00000-00	130 amp	14 ft	00000-00	極弱	2/3'	0 半船	一 運動距離、時間、期限の5等波、距離、最終の浮上と此距離-約、横方向、発信-約十分取-聴取此の得り之227以前、成績-此の甚、優速也、全、地勢、關係=此れに可、此、身-開、の、高、能、層、研究、要、二、首尾方向-約、十、号、航、初、不感-約、十一、号、航、能、微弱此の聴取此、甚、異、の、生、の、二、向、航、轉、航、時間-一分、若、十、号、航、自、航、轉、航、也、二、共、一、発信=移、の、十、号、航、一分、間、及、自、航、轉、航、中、横、方、北、の、発信、此、の、ト、レ、コ、227、初、の、確實、漸、次、微弱、解、ト、リ、遂、=首尾、針、路、=入、テ、不感、ト、レ、レ、ト、リ、十、号、航、全、の、首尾、線、に、テ、発信、ト、レ、レ、ト、リ、ト、リ、
15 ft	25 lbs	良	00000-000	130 amp	14 ft		不感	1 2/6'	A1	
14 ft	22 lbs	良	0-000	130 amp	18 ft	0-000	極明瞭	1 2/6'	A2	十、号、航、発信
22 ft	25 lbs	良	00-00-0	130 amp	14 ft	00-00-0	極明瞭	1 2/6'	A3	
14 ft	22 lbs	良	0-0000-0	100 amp	30 ft	0-0000-0	變、對、中、明、瞭、極、明、瞭	2 1/6'	A4	
15 ft	25 lbs	良	0-0000-0	130 amp	14 ft		不感	2 5/6'	B1	
14 ft	22 lbs	良	00-00000-00000	130 amp	15 ft	00-00000-00000	初、不明、後、明瞭	2 5/6'	B2	十、号、航、発信
15 ft	25 lbs	良	00-00000-00000	130 amp	14 ft	00-00000-00000	明瞭	2 5/6'	B3	
14 ft	20 lbs	良	00000-0000-000	130 amp	20 ft	00000-0000-000	初、明瞭、後、極、明、瞭	2 2/3'	B4	

○ 本資料は、東京通信距離



公測水深	発信気圧	発信電圧	発信電流	発信電圧	公測水深	発信電流	電圧	発信電圧	電圧	電圧	電圧
14ft	20 lbs	良	00000-00	130 amp	14ft	00000-00	極弱	3/5'	0	半面	一連の疎敵(時測)の5管は、疎敵の最
15ft	25 lbs	良	00000-000	130 amp	14ft		不感	1 3/8'	A1	十	終りの浮上と此疎敵-は、横方の、発信-射-
14ft	22 lbs	良	0-000	130 amp	18ft	0-000	極明瞭	1 3/8'	A2	海	7十分取-疎敵-の、得-の、227以前、成績-
22ft	25 lbs	良	00-00-0	130 amp	14ft	00-00-0	極明瞭	1 3/8'	A3	艇	比ヶ基、優速と、全、地勢、関係=2021+10)
14ft	22 lbs	良	0-0000-0	100 amp	30ft	0-0000-0	復射中明瞭	2 1/8'	A4	艇	此身-開-の、両船、研究、要、
15ft	25 lbs	良	0-0000-0	130 amp	14ft		不感	2 5/8'	A5	艇	一、首尾方向-は、計号艇、初、不感-27十一号艇
14ft	22 lbs	良	00-0000-000000	130 amp	15ft	00-00000-00000	初、不明	2 5/8'	A6	艇	艇、激射、疎敵、取、出、生、出、の、両艇、稀、
15ft	25 lbs	良	00-00000-000000	130 amp	14ft	00-00000-00000	明瞭	2 5/8'	A7	艇	疎敵-一分、差、計号艇、自艇、稀、射、中、横方-
14ft	20 lbs	良	00000-0000-000	130 amp	20ft	00000-0000-000	初、明瞭	2 3/8'	B1	艇	=射、出、の、十一号艇、一分間、及、自艇、稀、射、中、横方-
15ft	25 lbs	良	00000-0000-000	130 amp	14ft		不感	4 3/8'	B2	艇	稀、射、中、横方-は、計号艇、初、破、費、漸、次、激射、中、途-
14ft	22 lbs	良	00000-0-000	130 amp	18ft	00000-0-000	明瞭	4 3/8'	B3	艇	=首尾、針、路、入、り、不感、疎敵、計号艇、全、首尾
18ft	25 lbs	良	00000-0-000	130 amp	14ft	00000-0-000	明瞭	4 3/8'	B4	艇	線、11-7、発信、20-2021+
14ft	22 lbs	良	00-000-00	130 amp	18ft		不感	5 1/8'	B5	艇	二、一、依、計号艇、全、首尾、線、稀、射、中、横方、
15ft	25 lbs	良	00000-000	130 amp	14ft		不感	5 5/8'	B6	艇	如何-連、疎敵、全、疎敵、計号艇、計号艇、稀、射、中、途、可
14ft	22 lbs	良	00-000-0000	130 amp	18ft	00-000-0000	明瞭	6 5/8'	B7	艇	7、初、計号艇、の、横方-射、出、は、從、計号艇、明瞭、の、内、其
18ft	25 lbs	良	00000-000	130 amp	14ft	00000-000	明瞭	6 5/8'			角度、及、疎敵、関係、次、回、研究、後、計号艇、稀、射、中、途、

○ 本実験は、計号艇、稀、射、中、途、の、

後
供
以
欠

海

佐鎮第一三號三

大正元年四月九日

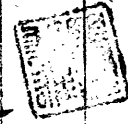
佐世保鎮守府司令長官島村速修

海軍大臣男爵齋藤實殿

軍務局

艦政本部

軍令部



軍艦肥前修理公試運轉件

軍艦肥前修理公試運轉未々四月十七日頃より施行

可致候第四部 部員

報
査
査

會計課



第一班



第三班

海

軍



長官印

4-16

0574